

キハダ

【 *Phellodendron amurense* 】

科名 ミカン科

属名 キハダ属

薬効・用途

周皮を除いた樹皮（黄柏 オウバク）は苦味健胃薬、腸内殺菌、消化不良に用い、又外用消炎薬とする。樹皮は黄色の染色剤としても古くから用いられる。黄連解毒湯、荊芥連翹湯、温清飲、柴胡清肝湯、滋陰降火湯、七物降下湯、清暑益気湯、半夏白朮天麻湯などの漢方方剤に配合される。



・花期：5～7月

備考

落葉高木。北海道～九州の山地に自生し、朝鮮・中国北部・ウスリー・アムールに分布する。和名は、樹皮の表皮と内部の木質部との間にある内皮が鮮やかな黄色である「黄色い肌」に由来する。雌雄異株。